

# 永和中学校屋内運動場老朽化対策基本構想・基本計画 【概要版】

## 1. 背景・目的

愛西市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、将来を見通した学校統廃合等の具体的施策を示すことを目的として令和6年3月に「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」を策定しました。永和中は屋内運動場の漏水が喫緊の課題となっていることから老朽化対策を検討することとなりました。

本基本構想・基本計画は施設の老朽化状況やこれからの学校施設に必要な機能整理を行い、老朽化対策の基本的な方向性を示し、設計を進めるうえで必要な基本条件を整理することを目的とします。

## 2. 永和中学校の概要

### 敷地概要

所在地	愛西市善太新田町七草平 111-1
敷地面積	32,747 m <sup>2</sup>
地域地区	市街化調整区域、法 22 条区域
建ぺい率・容積率	60%、200%
日影規制	4 時間、2.5 時間、測定面 4 m
接道状況	北側：市道 3141 号線、幅員 5.0～6.3m 東側：市道 3098 号線、幅員 3.5～5.0m 西側：市道 3143 号線、幅員 4.0m
ハザードマップ	洪水浸水想定：0.5m～1.0m（計画規模）、3.0～5.0m（最大） 高潮浸水想定：5.0m以上 津波浸水想定：1.0m～3.0m（最大）
施設内容	建物敷地 13,182 m <sup>2</sup> 、運動場用地 19,565 m <sup>2</sup>
延床面積	校舎 4,787 m <sup>2</sup> 、屋内運動場 1,500 m <sup>2</sup> 、武道場 1,373 m <sup>2</sup>

### 児童数・学級数の推移

年度	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
生徒数	205	215	223	200	193	175	170	164	157	143	122	141
学級数 (通常学級)	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
学級数 (支援学級)	1	1	2	3	3	3						

### 既存施設概要



現況配置図

### 主な建物一覧

棟名	建築年	面積
北校舎・西棟	昭和 44 年	2,094 m <sup>2</sup>
北校舎・東棟	昭和 51 年	1,069 m <sup>2</sup>
南校舎棟	昭和 58 年	1,624 m <sup>2</sup>
屋内運動場	昭和 54 年	1,500 m <sup>2</sup>
武道場	平成 11 年	1,373 m <sup>2</sup>



現況写真（屋内運動場）

## 3. 基本計画案

### (1) 必要諸室・規模

部門	室名	室数	1 室面積	地域開放
屋内運動場	アリーナ	1 室	1,200 m <sup>2</sup>	○
	ステージ	1 室	120 m <sup>2</sup>	○
	器具庫	適宜	合計 140 m <sup>2</sup>	○
	放送室（ステージに含む）	1 室	6 m <sup>2</sup>	
	控室	1 室	12 m <sup>2</sup>	
	会議室	1 室	64 m <sup>2</sup>	○
	トイレ	男女各 1 室 だれでも 1 室	適宜	○
	更衣室	男女各 1 室	20 m <sup>2</sup>	○
	防災備蓄庫	1 室	40 m <sup>2</sup>	
	玄関	1 室	36 m <sup>2</sup>	○
	その他共用部・EV	適宜	適宜	○
屋外付帯施設	屋外倉庫（農具庫、体育庫、石灰室、道具庫）	各 1 室	合計 100 m <sup>2</sup>	
	部室	3 室	12 m <sup>2</sup>	
	ミーティング室	1 室	24 m <sup>2</sup>	
	屋外トイレ	男女各 1 室 だれでも 1 室	適宜	
<b>屋内運動場合計面積 約 2,200 m<sup>2</sup></b>				

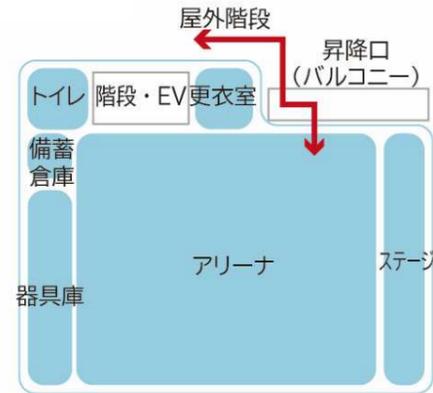
## (2)配置計画



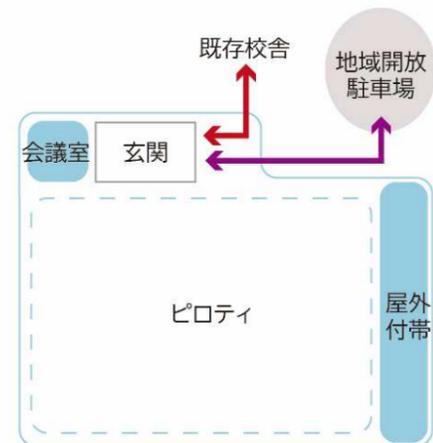
配置イメージ

- ・ 既存校舎への日影や校舎（職員室）からグラウンドへの視認性を考慮し、現在相撲場のある位置に新屋内運動場を配置します。
- ・ 現在のグラウンドの利用方法（軟式野球、ソフトボール、テニスコート）を継続できるように、軟式野球場のバックネット位置は変更します。
- ・ 現在の屋内運動場位置は解体後に地域開放用の駐車場とします。
- ・ 新屋内運動場と既存校舎は渡り廊下で接続します。

## (3)平面計画



2階平面イメージ



1階平面イメージ

### 【アリーナ周辺】

- ・ アリーナは公式バスケットボールコート2面が確保できる広さとします。
- ・ アリーナには高窓の開け閉め等に利用するギャラリーを設け内部階段で容易にアクセスできるようにします。

### 【付属諸室】

- ・ トイレは全て洋式とします。
- ・ 防災備蓄庫を設けます。

### 【動線空間】

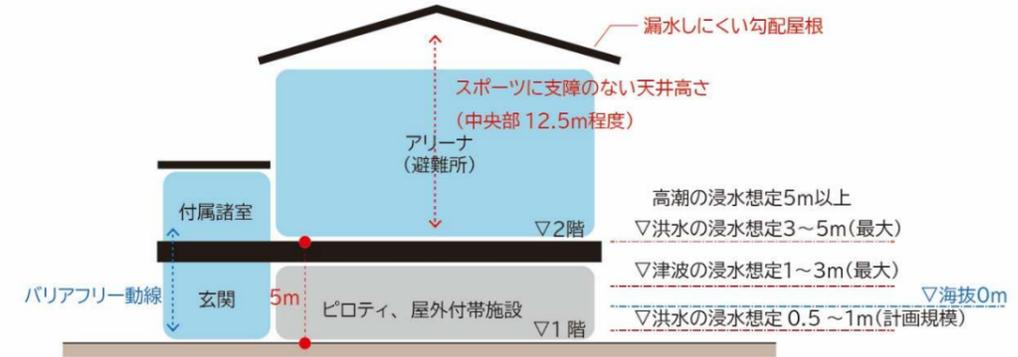
- ・ 1階に玄関を設け、屋内階段・エレベータで2階アリーナに移動できるようにします。小学生等、大人数での利用の際は屋外階段から2階バルコニー経由でアリーナに直接アクセスできるようにします。
- ・ 屋上、屋根の維持管理が容易にできるようなメンテナンス階段を設けます。

### 【屋外付帯施設】

- ・ 1階に部室等の屋外付帯施設を設けます。

## (4)断面計画

- ・ 浸水を考慮し、アリーナ及防災備蓄倉庫は2階に配置します。2階の床レベルは地盤面から5mとします。1階はグラウンドと連携して利用できる諸室を配置します。
- ・ アリーナの天井高さは中央部 12.5m程度とし、スポーツに支障のない高さを確保します。



断面イメージ

## (5)その他の整備方針

- ・ 屋根・壁等の高断熱化を図るとともに、アリーナを含む各居室に冷暖房設備を設け、快適な室内環境となるよう配慮します。
- ・ 避難所として十分な耐震性を確保するとともに、天井やバスケットゴール等の非構造部材の落下防止対策を行い、安全性を向上させます。
- ・ 災害時に避難所運営が行えるよう防災機能の整備を行います。
- ・ だれでもトイレやエレベータ・スロープの設置等、災害時も考慮した施設のバリアフリー化を行います。
- ・ ICT教育に対応できるようにWi-Fi環境を整備します。

## (6)事業スケジュール

- ・ 令和10年度の卒業式を新屋内運動場で行うことを目標に事業を進めていきます。

	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
選定	基本設計・実施設計	選定	建設工事	解体・外構整備
			供用開始	